

所 蔵 品 一 覧



花模様の一刀彫

ヤマハアップライトピアノ

明治時代の製造。
上前板には花模様の一刀彫、燭台のほか、今では大変珍しい収納式の譜面台が採用されています。同モデルで現存するものはこの一台のみといわれています。

ヤマハアップライトピアノ

明治30年頃の製造。
上前板には真鍮製の蜀台一對、美しい幾何学模様の一刀彫が施され、円柱形の脚柱には、当時の木工職人の高度なるくろ技術が存分に発揮されており、明治時代の品格がピアノ全体を包み込んでいます。

大川正敏氏 所有



ヤマハアップライトピアノ

製造番号4964

大正6~7年頃の製造。
盤は既に88鍵備えており、白鍵には象牙を柱目で一枚貼りするなど、贅沢かつ趣向を凝らしたつくりです。

ヤマハアップライトピアノ 製造番号7245

大正15~昭和元年製造。
昭和天皇の天皇即位を祝して、龍が天皇を、鳳凰が皇后を意味する豪華な一刀彫が美しいピアノです。現存するものはこれを含め日本に4台といわれています。



(左) ヤマハグランドピアノ No. 20 製造番号35581

昭和14年頃の製造。
丸い脚柱など、重厚な格調高いデザイン。戦前の国産ピアノの歴史を知る上で貴重な一台です。寄贈：藤井輝彰氏

(右) ヤマハグランドピアノ No. 3 製造番号20592

昭和8年頃の製造。
美しい6本脚柱のこのモデルは、戦前製のピアノの中でも傑作といわれる一台です。



グロトリアン=シュタインヴェーグ 製造番号47556

1925年製造、160cmのグランドピアノ。第二次世界大戦において資料焼失のため、これ以上の情報は不明。グロトリアンピアノは、1835年頃スタインウェイの創始者とともにピアノを製作していたことで有名です。



ヤマハピアノNo. 1 製造番号8497

大正15年~昭和初期に掛けて製造されたヤマハピアノ。大正時代に作られたピアノの特徴を備えています。

スタインベルク ベルリン 製造番号36827

スタインベルク有限会社ピアノ工場は、1908年に創業。現存する台数が極端に少ないため、「幻のピアノ」と呼ばれています。



ヤマハピアノNo. 2 製造番号23590

昭和10年頃の製造。
戦前のヤマハピアノカタログに掲載されています。



ピアノだけでなく、昭和初期のヤマハピアノ・オルガンのカタログ（原本）も展示しています。大変希少価値の高いもので、日本のピアノの歴史を知る上で重要な資料です。